

授業と評価の年間計画

教科	理科	科目	化学探究B	
使用教科書（発行所）		独自教材		
履修条件 対象生徒	選択 普通科 文型 3年			
学習目標	化学的な事物・事象についての観察・実験などを行い、自然に対する関心や探究心を高め、科学的に探究する能力と態度を育てるとともに、基本的な概念や原理・法則を理解させ、科学的な自然観を身に付ける。			
学習方法	<p>【授業】 教科書や資料集、授業プリントを用いて、授業を展開する。必要に応じて、タブレット等の電子コンテンツを利用したり、実験をしてレポートを書いたりして科学的な実力を養成する。</p> <p>【家庭】 授業で示した参考書やプリント等を活用して、復習に重点を置いた努力をすること。予習は、次回範囲を一読し、重要語句を把握しておくことが大切である。</p> <p>【補習・その他】 課題のプリントや授業中に指示した宿題について、各自が定期的に学習することが望まれる。</p>			
学習計画 と ねらい	1 1学期 (1) 期末考査まで 化学基礎の総復習		・これまで習った酸塩基・酸化還元反応などの基礎的な総復習を行う。	
	2 2学期 (1) 期末考査まで ア 探究活動 分子モデルを用いて構造式の考え方を学ぼう イ 酸塩基の二段階中和について ウ 共通テスト対策		・分子モデルを用いて、電子式と構造式の考え方を理解させる。 ・酸塩基の二段階中和の実験を行い、滴定曲線を描くことで理解を深める。 ・さまざまな演習問題を解いて、共通テストの対策を行う。	
	3 3学期 (1) 共通テスト直前対策		・これまでの総復習を行い、共通テストに備える。	
評価規準	知識・理解	技能	思考・判断・表現	関心・意欲・態度
	自然の事物・現象について、基本的な原理・法則を理解し、知識を身に付けている。	観察・実験を行い、基本操作を習得するとともに、それらの過程や結果を的確に表現することができる。	自然の事物・現象の中に問題を見だし、探究する過程を通して、科学的に考察しることができる。	自然の事物・現象に関心や探究心を持ち、意欲的にそれらを探究しようとする科学的態度を身に付けている。
評価方法	定期考査、授業態度、課題・提出物・小テストなどを総合的に判断して評価する。			
その他	資料集を用いた学習、実験・観察、演習等を通して探究的な学習を実施する。大学入学共通テストでは、知識量だけでなく、その知識を用いた思考力を問う問題が出題される。その対策には、十分な内容理解と思考力・判断力・表現力が大切になる。			